

エコアクション21 環境経営レポート



わたしたちは橋梁工事に誇りを持って施工するプロフェッショナル集団です



取組期間 : 2023年7月～2024年6月
発行日 : 2024年12月28日



株式会社永和工業

【 目 次 】

1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営目標(中・長期目的・目標)	3
4. 環境経営計画(本社・工事部)	4
5. 環境管理体制	5
6. 環境経営目標実績	6
7-1. 環境経営計画の取組結果とその評価(本社)	7-1
7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価(工事部)	7-2
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟等の有無	10
10. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示	11
11. SDGs宣言	12



1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

- ・事業所 : 株式会社永和工業
- ・代表者氏名 : 代表取締役 家門政司
- ・創立年月 : 昭和58年7月
- ・資本金 : 2,000万円

(2) 所在地

- ・本社 香川県仲多度郡琴平町榎井72
TEL : 0877-73-3419 FAX : 0877-75-4581
- ・羽間営業所 香川県仲多度郡まんのう町羽間2535-1
- ・資材置場 香川県善通寺市大麻町124-3
- ・第2社員寮 香川県仲多度郡まんのう町羽間字金山2370-1

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 総務課長
- ・連絡担当者 総務課長
- ・TEL 0877-73-3419
- ・E-mail info@eiwakougvo.jp

(4) 事業内容と許可

1. 特定建設業 香川県知事許可(特-30)第4479号
有効年月日 2023年5月29日から2028年5月28日
事業の範囲 土木工事業、舗装工事業、塗装工事業、鋼構物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
2. 一般建設業 香川県知事許可(般-30)第4479号
有効年月日 2023年5月29日から2028年5月28日
事業の範囲 大工工事業、鉄筋工事業、とび・土工工事業

(5) 事業の規模

- ・売上高(出来高) 45,705万円
- ・工事等の件数 15件
- ・従業員 37人 (2024年6月現在)
- ・延べ面積 事務所 720.82㎡、羽間営業所1755.29㎡、資材置場238.38㎡

(6) 事業年度

- ・7月～翌年6月

(7) 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- ・登録事業所
本社、羽間営業所、資材置場
- ・事業内容
土木工事業、鉄筋工事業、とび・土工工事業
- ・取組期間
・2023年7月～2024年6月
- ・発行日
・2024年12月28日
- ・関連事業所
なし

2. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社永和工業は、地域社会の下支えとなる「社会基盤の構築」と「安全な暮らしを想像し笑顔溢れる生活環境の整備」を事業活動とし、その担い手としての役割を果たすことで、地域循環共生圏の創造に貢献する。

【環境行動指針】

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ①省エネルギー活動の推進によるCO2の削減
- ②3R化推進による廃棄物の削減
- ③生活用水、工業用水使用量の削減
- ④自社が施工、提供する製品や構造物の環境配慮型の施工の実施
- ⑤地域社会が取り組む環境保全活動への積極的な参加

2. 環境関連法規・条例・規則の遵守

環境経営方針は、全社員および協力会会員に周知し、継続的改善活動に取り組みます。

制定日：令和4年 7月22日

株式会社 永和工業

代表取締役 家門政司



3. 環境経営目標

【中・長期目的・目標(全体)】

・基準年 2021年7月～2022年6月

目的	単位	目 標			
		基準年(2021年)	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	79,511	78,716	77,921	77,126
・電気使用量削減(四国電力・グリムスパワー)	kWh	54,812	54,264	53,716	53,168
・ガソリン、軽油使用量削減	L	18,170	17,988	17,806	17,625
一般廃棄物排出量削減	kg	476	471	466	462
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	2,010	1,989	1,969
水総使用量削減	m3	1,429	1,415	1,400	1,386
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%	100%	100%

* 1. 電力のCO2 発生量については、

四国電力2022年1月13日公表調整後排出係数0.574 (kg-CO2/kWh) を使用した。

グリムスパワー2022年1月13日公表調整後排出係数0.503 (kg-CO2/kWh) を使用した。

* 2. 組織本来の取り組みは、民間発注工事の工期短縮に取り組むために次の①②③項目を実施する。

①適切な労務管理(役務供給) ②技術力向上教育(人材育成) ③協力業者の選定(各工種に応じて)

* 化学物質使用量はありません。

* 灯油使用は少量のため、目標設定していません。

○目的・目標

・取組期間 2023年7月～2024年6月

・全体

目的	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	79,511	77,921
・電気使用量削減	kWh	54,812	53,716
・ガソリン、軽油使用量削減	L	18,170	17,806
一般廃棄物排出量削減	kg	476	466
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	1,989
水総使用量削減	m3	1,429	1,400
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%

・本社

目的	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	17,770	17,415
・電気使用量削減	kWh	13,670	13,397
・ガソリン使用量削減	L	4,067	3,986
一般廃棄物排出量削減	kg	476	466
水総使用量削減	m3	78	76

・工事部

目的	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	61,741	60,506
・電気使用量削減	kWh	41,142	40,319
・ガソリン使用量削減	L	4,491	4,401
・軽油使用量削減	L	9,612	9,419
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	1,989
水総使用量削減	m3	1,351	1,324
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%

4. 環境経営計画

・取組期間 2023年7月～2024年6月

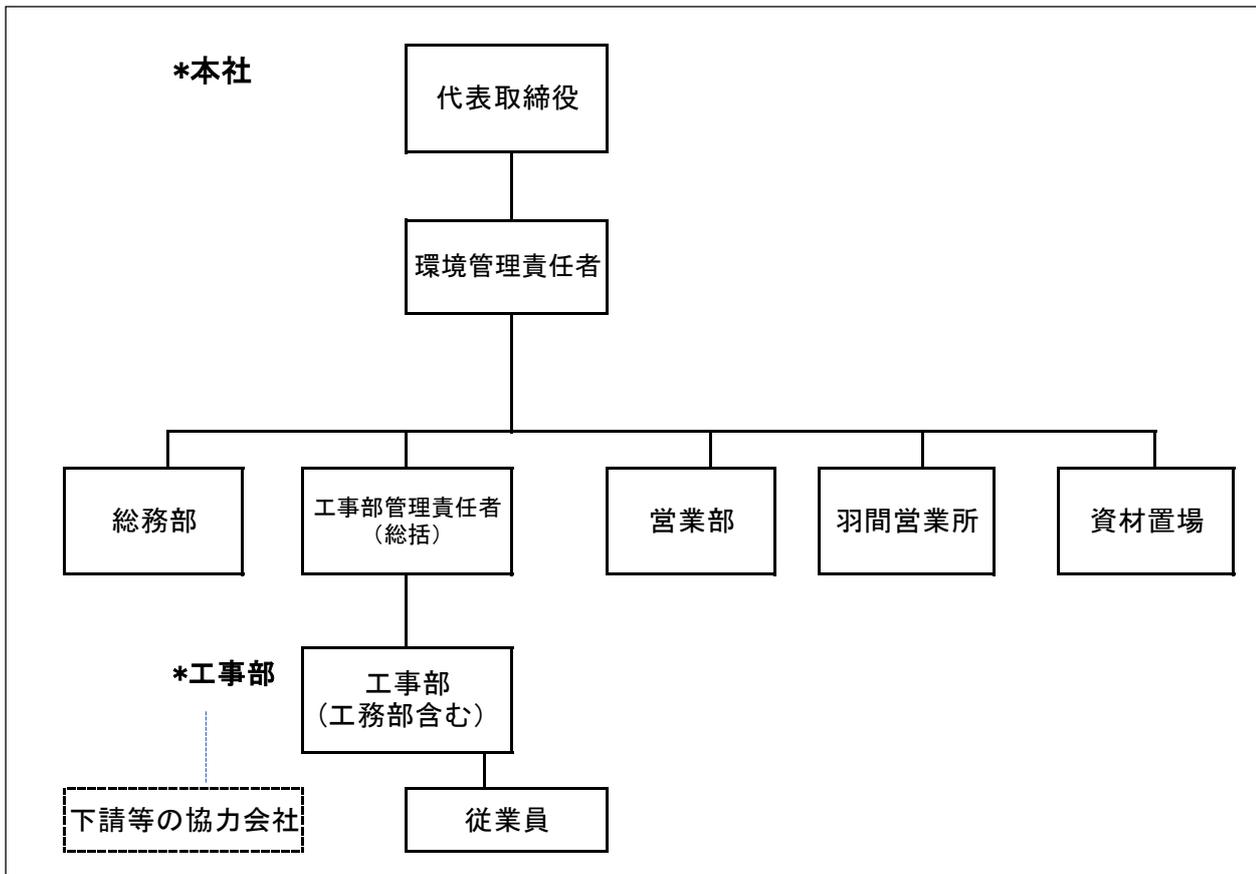
○本社

目的		具体的実施項目
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③空調機フィルターの定期清掃
	ガソリン使用量削減	①走行距離の運転記録 ②定期的な車両点検
廃棄物排出量削減	一般廃棄物削減	①コピー用紙の裏面利用 ②使用済み封筒の再利用 ③FAXの電子化
水使用量削減	節水	①節水シール貼付とポスター掲示 ②日常的な節水の励行
社内環境配慮	環境に配慮した取り組み	①廃棄物分別とリサイクルの促進 ②書類の整理整頓

○工事部(羽間営業所含む)

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③空調機フィルターの定期清掃
	ガソリン使用量削減	①定期的な車両点検 ②走行距離・燃費の運転記録 ③アイドリングストップの励行
	軽油使用量削減	①定期的な車両点検 ②走行距離・燃費の運転記録 ③アイドリングストップの励行
廃棄物排出量削減	産業廃棄物削減	①備品類の修理による長期使用 ②分別・リサイクルの推進
水使用量削減	節水	①節水シール貼付とポスター掲示 ②日常的な節水の励行
環境に配慮した施工	工期短縮に取り組む ※民間発注工事に限り	①適切な労務管理(役務供給) ②技術力向上教育(人材育成) ③協力業者の選定(各工種に応じて)

5. 環境実施体制



		役割・責任・権限
代表取締役		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実地に必要な、人、設備、費用、時間を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 全従業員に対する教育・訓練の実施 環境経営目標、環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 環境経営レポートを確認し、承認 環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境経営目標、環境経営計画書を作成 環境活動の取り組み結果を代表者に報告 環境経営レポートの作成 特定された緊急事態への対応マニュアル確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 環境活動の実績集計
	営業部	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	工事部 (工務部含む)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

6. 環境経営目標実績結果と評価

・取組期間 2023年7月～2024年6月

○全体

目的	単位	基準年 (2021年)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量削減 * 1	kg-CO2	79,511	77,921	83,663	5.2%増	×
・電気使用量削減(四国電力・グリムスパワー)	kWh	54,812	53,716	32,355	41%減	○
・ガソリン、軽油使用量削減	L	18,170	17,806	25,532	41%増	×
一般廃棄物排出量削減	kg	475	466	132	72%減	○
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	1,989	36,650	1705%増	×
水総使用量削減	m3	1,429	1,400	267	81%減	○
組織本来の取組 * 2	実施率	100%	100%	100%	-	○

○:達成 ×:未達

* 1. 電力のCO2発生量については、

四国電力2022年1月13日公表調整後排出係数0.571 (kg-CO2/kWh) を使用した。

グリムスパワー2022年1月13日公表調整後排出係数0.503 (kg-CO2/kWh) を使用した。

* 2. 組織本来の取り組みは、民間発注工事の工期短縮に取り組むために次の①②③項目を実施する。

①適切な労務管理(役務供給) ②技術力向上教育(人材育成) ③協力業者の選定(各工種に応じて)

* 化学物質の使用はありません。

* 灯油使用は少量のため、目標設定していません。

○本社

目的	単位	基準年 (2021年)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量削減 * 1	kg-CO2	17,770	17,415	17,996	1%増	×
・電気使用量削減	kWh	13,670	13,397	11,482	16%減	○
・ガソリン使用量削減	L	4,067	3,986	5,116	26%増	×
一般廃棄物排出量削減	kg	476	466	132	72%減	○
水総使用量削減	m3	78	76	68	13%減	○

○工事部

目的	単位	基準年 (2021年)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量削減 * 1	kg-CO2	61,741	60,506	65,667	6%増	×
・電気使用量削減	kWh	41,142	40,319	20,873	49%減	○
・ガソリン使用量削減	L	4,491	4,401	9,692	116%増	×
・軽油使用量削減	L	9,612	9,419	10,724	12%増	×
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	1,989	36,650	1705%増	×
水総使用量削減	m3	1,351	1,324	199	85%減	○
組織本来の取組	実施率	100%	100%	100%	-	

○コメント(本社と工事部を記述)

二酸化炭素排出量削減	・年間休日日数が増え事務所稼働日数が減り事務所内の照明を半分程度にし減少した。 ・ガソリン及び軽油の使用量は本社管理する車両の遠方への出張など走行距離が大幅に増えた。 ・電気使用量、ガソリン、軽油の削減はこまめな電源管理、乗り合わせを実施。
廃棄物排出量削減	・一般廃棄物では、契約書のペーパーレス促進、保存期限の書類の廃棄もなかった。 ・産業廃棄物は、元請工事は無かったが資材置き場の不用品の撤去と第2社員寮改修の際の汚泥の排出があった。
水総使用量削減	・本社は植栽の際、ホースにストップノズルを装着し減少できた。 ・工事部では社員寮の使用が少なかった。
組織本来の取組み	3項目「工種に応じた人員を確保する」「社内外の教育を実施し個々スキル向上に取り組む」「過去の実績を基に適切な業者選定を実施する」に取り組むことで、工期短縮できた。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

・取組期間 2023年7月～2024年6月

○本社

		具体的実施項目	10月	1月	4月	6月	評価
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○
		②適正温度の維持	○	○	○	○	○
		③空調機フィルターの定期清掃	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量削減	①走行距離の運転記録	○	○	○	○	○
②定期的な車両点検		○	○	○	○	○	
廃棄物	一般廃棄物削減	①両面コピーの推進	○	○	○	○	○
		②使用済み封筒の再利用	○	○	○	○	○
		③FAXの電子メール等の活用	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①節水シール貼付とポスター掲示	○	○	○	○	○
		②日常的な節水の励行	○	○	○	○	○
社内環境配慮	環境に配慮した取り組み	①廃棄物分別とリサイクルの促進	○	○	○	○	○
		②書類の整理整頓	○	○	○	○	○

○:計画通り実施 △:一部出来なかった ×:出来ていない

○評価に対するコメント

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量 不在時の消灯は継続し、窓を開けたり温度管理の維持し、空調機フィルターの定期清掃も出来ていた。 ・ガソリン使用量 運転日報記録は継続し、定期的な車両点検も出来た。
廃棄物	両面コピーと封筒再利用、FAX、紙ベースを電子化に促進出来た。
水使用量	節水シール貼付で意識的に節水につながり、引き続き継続していく。
社内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でペットボトルの仕分け分別が出来た。 ・書類は年度ごとに保存整理整頓出来ている。

○工事部

		具体的実施項目	10月	1月	4月	6月	評価
二酸化炭素	電気使用量削減	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○
		②適正温度の維持	○	○	○	○	○
		③空調機フィルターの定期清掃	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量削減	①定期的な車両点検	○	○	○	○	○
		②走行距離・燃費の運転記録	○	○	○	○	○
		③アイドリックストップの徹底	△	△	△	△	△
軽油使用量削減	①定期的な車両点検	○	○	○	○	○	
	②走行距離・燃費の運転記録	○	○	○	○	○	
	③アイドリックストップの徹底	△	△	△	△	△	
廃棄物排出量	産業廃棄物削減	①備品類の修理による長期使用	○	○	○	○	○
		②分別・リサイクルの推進	○	○	○	○	○
水使用量	節水	①節水シール貼付とポスター掲示	○	○	○	○	○
		②日常的な節水の励行	○	○	○	○	○
		③水漏れ等の定期的点検	○	○	○	○	○
組織本来の取組	工期短縮に取り組む ※民間発注工事に限り	①適切な労務管理(役務供給)	○	○	○	○	○
		②技術力向上教育(人材育成)	○	○	○	○	○
		③協力業者の選定(各工種に応じて)	○	○	○	○	○

○:計画通り実施 △:一部出来なかった ×:出来ていない

○評価に対するコメント

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量 不在時の不要な照明、温度管理、空調機フィルターの定期清掃も継続していく。 ・ガソリン使用量 定期的な車両点検、運転記録は出来ているが、アイドリングストップの周知をする。 ・軽油使用量 ガソリン使用量と同様にアイドリングストップの意識が低い為、周知していく。
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・社員寮の改修等備品の再利用。 ・分別・リサイクルも意識的に出来ている。
水使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の掲示により意識的に出来ている為、継続していく。 ・水漏れ等の点検等も継続していく。
組織本来の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・労務管理に関しては、過不足の無い役務の供給ができた。 ・資格取得支援や安全教育指導など、作業員の技術力向上を図り、今後も現場に順応できる人材の育成に努めていく。 ・引き続き適正な協力業者の選定を行う。

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

○短期目的・目標

・取組期間 2024年7月～2025年6月

・全体

目的	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	79,510	77,126
・電気使用量削減	kWh	54,812	53,168
・ガソリン、軽油使用量削減	L	18,168	17,625
一般廃棄物排出量削減	kg	475	461
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	1,969
水総使用量削減	m3	1,429	1,386
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%

* 1. 電力のCO2発生量については、

四国電力2022年1月13日公表調整後排出係数0.574 (kg-CO2/kWh) を使用した。

グリムスパワー2022年1月13日公表調整後排出係数0.503 (kg-CO2/kWh) を使用した。

* 2. 組織本来の取り組みは、民間発注工事の工期短縮に取り組むために次の①②③項目を実施する。

①適切な労務管理(役務供給) ②技術力向上教育(人材育成) ③協力業者の選定(各工種に応じて)

* 化学物質使用量はありません。

・本社

目的	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	17,769	17,236
・電気使用量削減	kWh	13,670	13,260
・ガソリン使用量削減	L	4,067	3,945
一般廃棄物排出量削減	kg	475	461
水総使用量削減	m3	78	76

・工事部

目的	単位	基準年(2021年)	目標
二酸化炭素排出量削減 *1	kg-CO2	61,741	59,890
・電気使用量削減	kWh	41,142	39,908
・ガソリン使用量削減	L	4,490	4,356
・軽油使用量削減	L	9,611	9,324
産業廃棄物排出量削減	kg	2,030	1,969
水総使用量削減	m3	1,351	1,310
組織本来の取組 *2	実施率	100%	100%

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

○環境経営目標として、全社で低減に取り組む

○環境経営計画

(取組期間 2024年7月～2025年6月)

○本社

目的		具体的実施項目
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③空調機フィルターの定期清掃
	ガソリン使用量削減	①走行距離の運転記録 ②定期的な車両点検
廃棄物	一般廃棄物削減	①両面コピーの推進 ②FAXの電子メール等の活用 ③ミスプリントの裏紙使用
水使用量	節水	①日常的な節水の励行
社内環境配慮	環境配慮した取り組み	①廃棄物分別とリサイクルの促進 ②書類の整理整頓 ③グリーン商品を優先購入する

○工事部

目的		具体的実施項目
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 ③空調機フィルターの定期清掃
	ガソリン使用量削減	①定期的な車両点検 ②走行距離・燃費の運転記録 ③現場移動時の乗り合わせ
	軽油使用量削減	①定期的な車両点検 ②走行距離・燃費の運転記録 ③現場移動時の乗り合わせ
廃棄物排出量削減	産業廃棄物削減	①備品類の修理による長期使用 ②分別・リサイクルの推進
水使用量削減	節水	①日常的な節水の励行 ②水漏れ等の定期的点検
環境に配慮した 施工	工期短縮に取り組む ※民間発注工事に限り	①適切な労務管理(役務供給) ②技術力向上教育(人材育成) ③協力業者の選定(各工種に応じて)

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社に該当する主な環境関連法規一覧

作成及び遵守確認日： 2024年6月30日

適用法令等	適用内容	遵守事項
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託先の許可確認
	運搬・処分業者との委託契約	委託契約の締結・5年間保存
	マニフェストの交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理・5年間保存
	県知事への年度報告	管理票交付等状況報告書提出
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木工事において、分別解体・再資源化・再生資源の使用の計画を行う(工事着手7日前まで届出)	届出書の提出、規制基準の遵守
騒音規制法	知事(市町村長)へ7日前までに届け出	届出書の提出、規制基準の遵守
	作業敷地境界にて85デシベル以下	
振動規制法	知事(市町村長)へ7日前までに届け出	届出書の提出、規制基準の遵守
	作業敷地境界にて75デシベル以下	
家電リサイクル法	指定家電の適正な処理	適正処分・領収証
浄化槽法	浄化槽(合併処理浄化槽)設置届出	届出書の提出
	浄化槽の維持管理(法定検査・保守点検・清掃)	検査報告書の保管
フロン排出抑制法	特定製品の修理・廃棄時の、適正回収・破壊措置義務	フロン回収登録業者への委託発注者に書面説明
	業務用エアコンの簡易点検(3か月に1回以上)	簡易点検記録作成
自動車リサイクル法	使用済み自動車の再資源化	再資源化等預託金の支払い
グリーン購入法	環境にやさしい事務用品等の購入	対象製品の購入
作業所で同意するその他の要求事項	時間外の作業における近隣協定、資材等の搬出入時に近隣からの要望、発注者からの要望で同意するもの	時間外での作業は事前に連絡、粉塵の発生防止、アイドリングストップ
香川県環境基本条例	事業者の責務(第5条) 事業活動を行うに当たっては、公害の防止その他の環境への負荷の低減又は自然環境の適正な保全の為に必要な措置を講じなければならない。	第5条の適切な実施
香川県生活環境の保全に関する条例	事業者の責務(第90条、92条、93条、96条、99条) エコ運転の励行。廃棄物の減少に努め資源の有効活用。電気の使用量削減。消費量が少ない電気機器等の使用及び効率的な使用。環境マネジメントプログラム展開体制の組織の設置。アイドリングストップ。	第90条、92条、93条、96条、99条の適切な実施
高松市環境基本条例	事業者の責務(第5条) 事業活動によって発生する廃棄物を適正に処理する。	第5条の適切な実施

環境関連法規は遵守しています。利害関係者からの訴訟及び関係行政機関からの指摘も過去3年間ありません。

10. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

【評価】

エコアクション21に基づく環境への取組みとした継続的に実施しており、対象となる期間における取組みについて次の通り評価をまとめました。

まず、組織体制における変化として、管理業務に長けた人材の離職があり、現在は既存の職員に業務を分担してもらっている状況です。その影響もあり、業務負担の増加が懸念されます。

また、人材の新規入植者は依然として少ない状況が続いておりますが、作業員レベルで1名増員となり、現場の体制には若干の補強が見られました。売り上げの推移については、前年と比較して大きな変動はなく、安定した状況が維持されます。

エコアクション21の運用については、概ね計画通りに進捗しており、目標達成項目が見受けられる点も評価できます。引き続き「無駄を省く」「環境に配慮した業務の実践」という方針のもと、組織全体で意識を高めて取り組んでまいります。一方で燃油使用量については、工事の受注量及び現場住所地の影響を大きく受け、目標を上回る結果となってしまいました。

特に遠方案件の増加に伴い、車両の移動距離が長距離化したことが主な原因です。

車両台数自体は減少傾向にあることから、本来であれば燃料使用量は減少できる見込みでしたが、今年度についてはやむを得ない変動であると判断しております。

これにより、CO2排出量目標についても未達成となっております。

但し、今後も「無駄な運転の抑制」に関する啓発活動や運転管理の指導は継続し、できる部分からの改善努力を重ねて取り組みましよう。

本年度も下記の4点を重点課題として取り組みを実施しました。

1、二酸化炭素排出量の削減 2、廃棄物排出量の削減 3、水使用量の削減 4、社内環境への配慮

これらの活動は、当社の「環境実施体制」に基づき、全社的に推進しており、今後も継続的な改善を行いながら環境経営の成熟を目指してまいります。

【見直し・指示】

前回の審査以降、組織体制において管理業務を担うことの出来る人材が離職したことにより、現在は各人の業務負担が増加しております。

特に管理業務においては即時の人員補強が難しい状況にあり、これまでの体制同様の運用を維持するのは困難を伴っております。

そのため、今後は一人ひとりが役割を分担しながら、負担の偏りを避け、業務の平準化を図る体制を模索してまいります。

システムや仕組みづくりにおいても、「急がず、時間をかけて」「自分たちの業務実態に即したもの」となるよう見直しと改善を重ね、組織として持続可能な運用体制の構築を目指しましょう。

また、当社は引き続き地域社会に根ざし「必要とされる企業」の形を目指して、環境への配慮と社会的責任を果たす経営を継続します。

環境経営方針につきましては、これまでの基本方針を踏襲しつつ、引き続き運用を行います。

環境実施体制に関しては、継続します。引き続き、改善・運用を図ってまいります。

環境経営目標及び環境経営計画は変更なく、運用します。

今後も、日々の業務の中に環境への配慮を組み込み、全社一丸となって取り組んでまいりましよう。

2024年12月28日

株式会社永和工業 代表取締役 家門政司

11. SDGs宣言



SDGsへの取り組み

取組事項	SDGs
<p>1.二酸化炭素排出量の削減</p> <p>① 電気使用量の削減に取り組みます →業務中の unnecessaryな照明を消灯します →適正温度の維持に取り組みます →空調機フィルターの定期清掃を行います</p> <p>② ガソリン使用量の削減に取り組みます</p> <p>③ 軽油使用量の削減に取り組みます →定期的な車両点検を行います →走行距離・燃費の運転記録 →アイドリングストップを励行します</p>	<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>
<p>2.廃棄物</p> <p>① 一般廃棄物の削減に取り組みます →コピー用紙の裏面を積極的に再利用します →紙類はリサイクルして使用します →使用済み封筒は処分せず、再利用します →FAXの電子化に取り組みます</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>3.水総使用量の削減</p> <p>① 節水に取り組みます →毎日水を大切に使い、節水に取り組みます →水を使用する場所に節水の表記を行います</p>	<p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>
<p>4.安全な労働環境</p> <p>→社内外での充実した安全教育の実施に加え、 労使一体での労働安全確保の徹底や最新技 術の導入により、従業員が安心・安全に働ける 環境づくりに努めて参ります</p>	<p>4 質の高い教育を みんなに</p> <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>

